

東日本大震災の記録

災害関連緊急地すべり対策事業 葉ノ木平地区について

県南建設事務所
河川砂防課 主任主査 鈴木利季

施工場所: 白河市葉ノ木平地内

1. 概要

- 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、葉ノ木平地区において地すべりが発生したことから、市道及び住宅27戸を保全するため、災害関連緊急地すべり対策工事を実施した。

参考: <地すべり防止区域指定(葉ノ木平地区)>
告示: 平成24年3月29日
(国土交通省告示第341号)
場所: 白河市葉ノ木平地内
全体面積: 5.30ha

2. 経緯・課題

- 3月11日の地震により、約75,000m³の土砂が崩落し、死者13名、家屋全壊10戸の被害が発生した。
- 余震や次期降雨により再流動化の恐れがあることから、緊急的な対策が必要であると判断し「災害関連緊急地すべり対策事業」を申請した。

<経緯>

平成24年3月11日 東日本大震災による地すべり発生、現地調査を実施
平成24年3月25日 事前協議
平成24年4月19日 事業申請
平成24年4月28日 事業採択
平成24年5月12日 事業説明会(第1回)
平成24年9月27日 事業説明会(第2回)



土木研究所公表資料 施工箇所
http://www.landslide-soc.org/news/2011/2011051303_takeshi.pdf



被災状況

3. 内 容

【全体事業費】2億5千万円
【事業期間】平成23年～24年度
【事業内容】
排土工V=32,000m³
法面工A=4,000m²

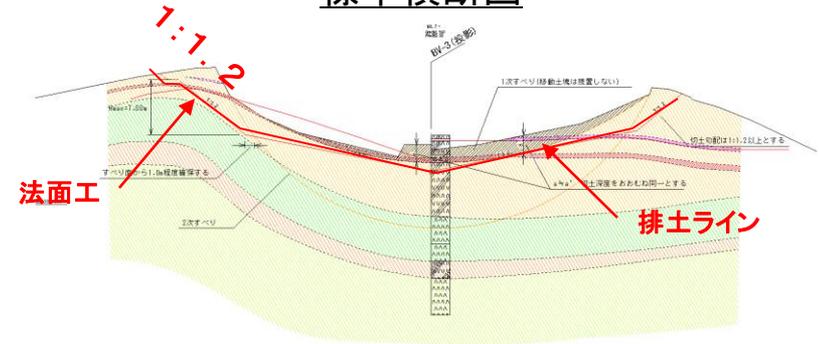
4. 進捗状況・創意工夫

- ・平成24年11月30日に竣工した。
- ・掘削対象土砂の土質はほとんどが火山灰質粘性土であり、震災以降の降雨の影響もあり非常に柔らかく、作業機械や作業員の足元が滑りやすい現場となっていた。このため、湿地用ブルドーザーの無限軌道に使われる三角型シューを装備したバックホウ等を使用し、トラフカビリティーを確保した。

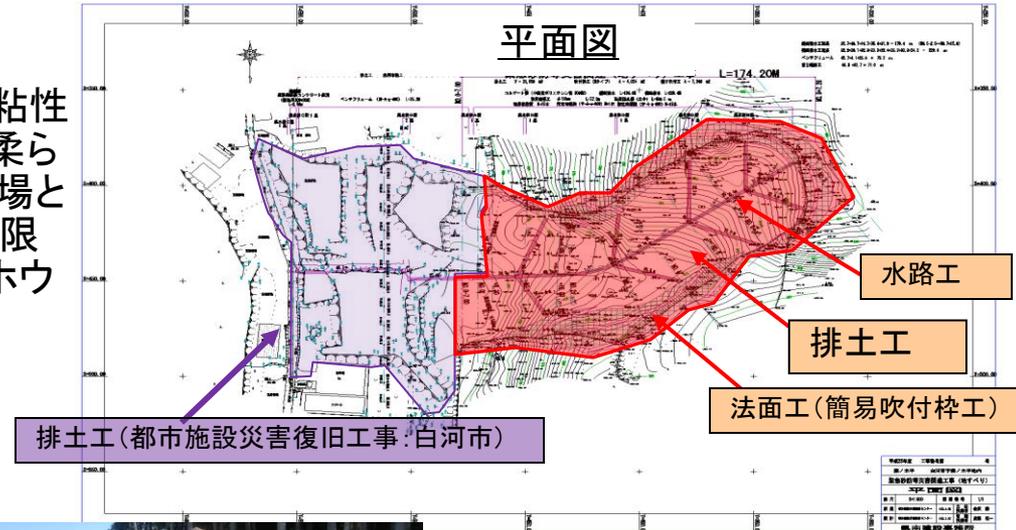
5. おわりに

- ・地震性地すべりについては、発生箇所の予測研究が始まったばかりであり、今後、災害の未然防止に役立つ成果がまとまることが期待される。
- ・近年想定外の災害が増えていることから、危険箇所が無いから安全だという意識を捨て、自然に対する『畏敬の念』を再認識し、早期の避難等の啓発に努めていきたい。

標準横断面図



平面図



三角シュー装備状況



竣工写真